

社会資本総合整備計画

事後評価シート

中心市街地再生整備計画

平成29年 1 月

岡山県津山市

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年1月11日

計画の名称	中心市街地再生整備計画		
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付団体	津山市
計画の目標	交流拠点など都市機能の強化による賑わいのまちづくり 目標1： 県北の中心都市としての拠点性向上を目指したまちづくりを推進する。 目標2： 誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進する。 目標3： 津山の特色ある歴史遺産等を活かしたまちづくりを推進する。		

計画の成果目標（定量的指標）	①多様な人々が日常的に集いいつでも賑わいを感じるまちを目指す。 ②市民が暮らしやすいと感じられるまちを目指すとともに、新たな雇用の場を創出し、中心市街地への転入を促進する。 ③多くの市民や観光客が津山の歴史文化を気軽に感じ楽しめるまちとすることを旨とする。		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	中心市街地において経年的にデータを計測している地点での平日・休日の通行量の（加重）平均値を把握する。			アウトカム指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値	中間目標値	最終目標値						
				H24	H26	H28						
				8,712人/日	8,960人/日	9,200人/日						
中心市街地の人口社会動態平均（転入・転出）を住民基本台帳から把握する。			-16人/年	0人/年以上	0人/年以上							
中心市街地において経年的データを計測している歴史文化関連施設（7施設）の利用者数を把握する。			176,508人	185,200人	197,000人							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,683 百万円	A	(内提案分297) 2,683 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C+D)	11.1%

事後評価												
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期						
津山市社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱に基づき、津山駅周辺地区整備検討会の評価結果を踏まえ、事後評価シートを作成						事業完了年度						
						公表の方法						
						津山市ホームページに掲載						

1 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
イ-10-(1)	都市再生	一般	津山市	直接	津山市	中心市街地再生地区都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設等 123ha	津山市						2,519	別添
イ-13-(4)	暮にぎ	一般	津山市	間接	グリーンホスピタルプライ(株)	津山市元魚町地区暮らし・にぎわい再生事業	グリーンライフ津山元魚町A=0.14ha	津山市						42	
イ-13-(4)	暮にぎ	一般	津山市	間接	新津山国際ホテル(株)	津山市山下地区暮らし・にぎわい再生事業	新津山国際ホテル(仮) A=0.36ha	津山市						122	
合計												2,683			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>通行量以外の指標は目標値に届いていないが、商業施設等を兼ね備えた高齢者向け住宅の入所開始、また、中心商店街への新規テナントの開業などにより、市街地中央部では人口増や雇用の創出が図られ、歩行者自転車通行量および人口の年間社会動態など賑わいの拡大が発現している。</p> <p>津山駅周辺の満足度については事業中であり効果発現が遅れているが、都市施設の整備や利便性快適性の充実にを図ることに対する、市民や公共交通利用者の意識は向上している。</p> <p>本計画による事業が継続しており、完了時点でフォローアップを実施する必要がある。</p>
--------------------------------	--

	アウトカム指標	従前値	目標値	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
II 定量的指標の達成状況	指標① 平日・休日の通行量の（加重）平均値	8,712 人/日	9,200 人/日	10,451 人/日 H28 集計値	都市再生整備計画事業や暮らし賑わい再生事業の関連事業である「サービス付き高齢者向け住宅等整備事業」など各種事業が実施されたことにより、目標値を上回る結果となった。継続的に中心市街地活性化事業等との連携を密にしていくことにより、街なかの回遊性を高め、さらなる賑わい創出および活性化を目指していく。
	指標② 人口社会動態平均（転入・転出）	-16 人/年以上	0 人/年以上	-4 人/年 H27 集計値	中心市街地の中央部では、都市再生整備計画事業や暮らしにぎわい再生事業において積極的にまちづくり事業へ取り組んだ結果効果発現が現れているが、中央部以外での人口減が大きく影響し目標値を下回る結果となっている。既存事業およびその他事業による取り組みを継続し、街なか居住の利便性・快適性および魅力の向上を推進し目標達成を目指していく。
	指標③ 歴史文化関連施設（7施設）の利用者数	176,508 人	197,000 人	186,499 人 H27 集計値	歴史文化施設を活用しイベント開催や情報発信などに取り組んだ結果、従前値を上回っており利用者数は増加傾向ではある。今後は、新たな資源の発掘や活用により注目度をあげる施策や取り組みにより、また、津山駅周辺整備事業の整備により、目標達成を見込んでいる。

III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<p>津山駅北口広場の整備により、津山市の玄関口としての整備ができ、綺麗で快適であるとの意見が聞かれる。</p> <p>井口公園整備事業や作州民芸館整備事業などの公共施設の整備により、利便性や快適性の向上に寄与しているとの意見が聞かれる。</p>
--	---

3 特記事項（今後の方針等）

継続して次期整備計画に取り組み、南北自由通路や駅南口広場整備など交通結節機能の強化を図り、駅南を含めた駅周辺市街地の一体的整備および観光駐車場やトイレ整備など来訪者の利便性・快適性を図るとともに観光資源を活用したまちづくりに取り組む。

社会資本総合整備計画（市街地整備） 参考図面

